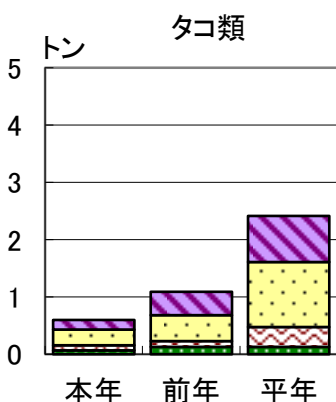
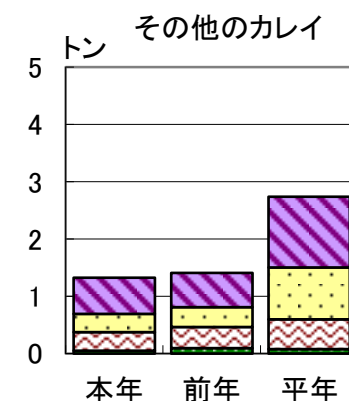
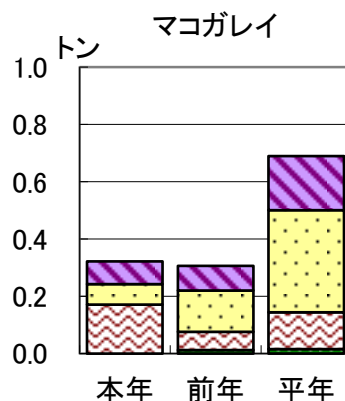
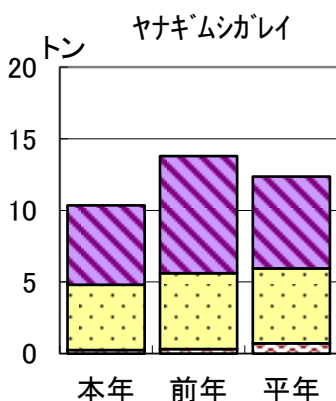
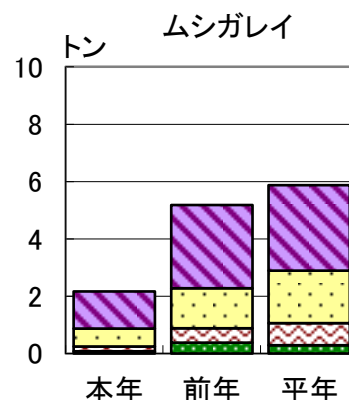
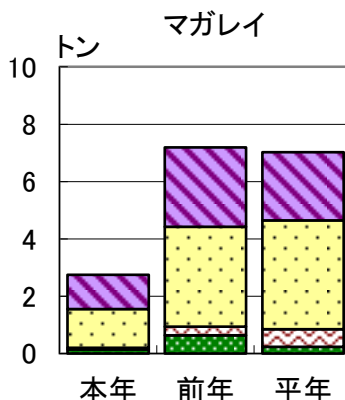
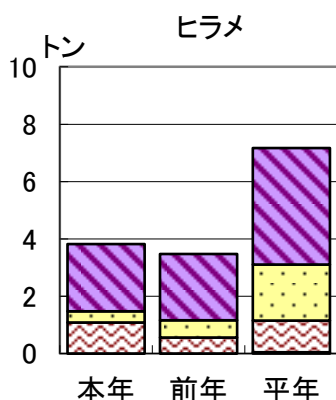


◎板びき網 新潟県内主要地区の水揚量（平成25年11月分）

単位：トン

地区	魚種	ヒラメ	マガレイ	ムシガレイ	ヤナギムシガレイ	マコガレイ	その他のカレイ	タコ類
山	北	2.35	1.19	1.30	5.55	0.08	0.63	0.17
岩	船	0.39	1.35	0.62	4.55	0.07	0.32	0.27
新	潟	1.08	0.05	0.17	0.25	0.17	0.32	0.09
二	見	0.00	0.15	0.08	0.01	0.00	0.05	0.07
	計	3.82	2.74	2.17	10.36	0.32	1.32	0.60
	前年	3.47	7.19	5.18	13.80	0.31	1.41	1.09
	5年平均	7.17	7.02	5.87	12.35	0.69	2.74	2.42



山町
 岩船
 新潟
 二見

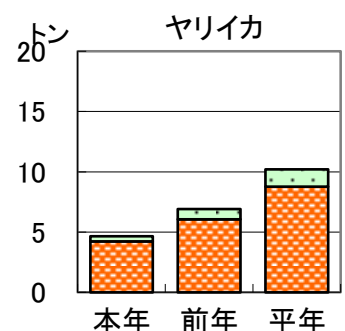
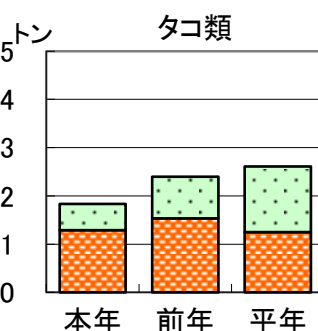
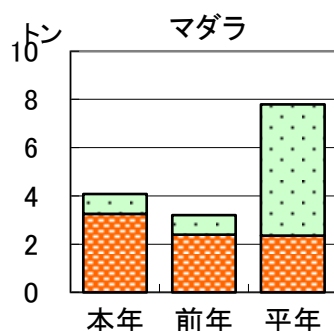
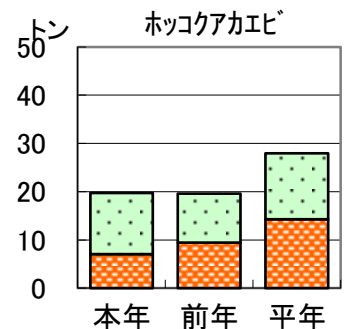
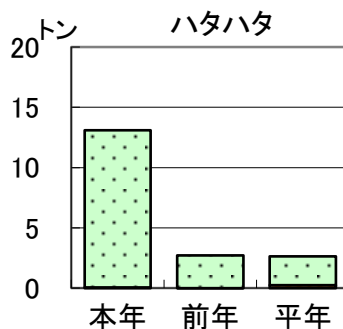
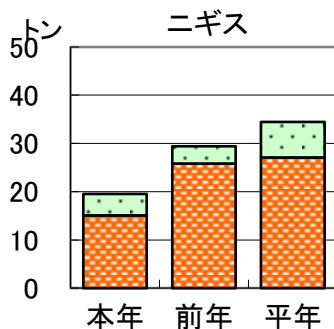
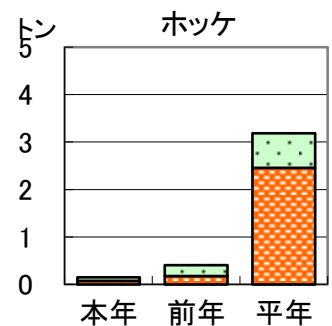
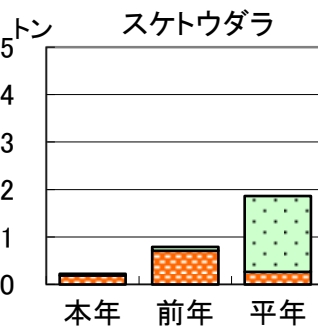
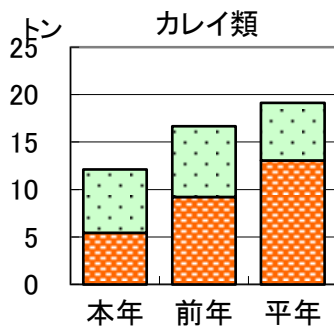
・11月の延べ出漁隻数はシケの影響により、前年比71%、平年比48%となり、前年・平年を下回りました。
 ・主要4地区の漁獲量は37トンで前年比62%(金額56%)、平年比49%(金額45%)となり、前年・平年を下回りました。
 ・ヒラメは前年並みでしたが、平年の半分程度の水揚げでした。
 ・マガレイ、ムシガレイは前年・平年を大きく下回り、半分以下の水揚げでした。
 ・ヤナギムシガレイは前年・平年を下回りました。
 ・タコ類は平年を大きく下回り、低調が続いています。

◎底びき網等 新潟県内主要地区の水揚量（平成25年11月分）

単位:トン

地区	魚種	カレイ類	スケトウダラ	ホッケ	ニギス	ハタハタ	ホッコアカエビ	マダラ	タコ類	ヤリイカ
山北	北	1.19	0.04	0.08	2.75	13.01	0.73	0.42	0.28	0.21
岩船	船	0.44	0.00	0.00	0.02	0.01	0.02	0.27	0.10	0.05
新潟	新潟	5.03	0.00	0.00	1.74	0.00	11.94	0.14	0.16	0.17
出雲	雲崎	2.03	0.02	0.02	1.42	0.00	0.00	0.07	0.52	0.16
名立	立	0.03	0.01	0.00	0.00	0.00	1.23	0.43	0.01	0.00
筒石	石	2.34	0.13	0.05	9.39	0.04	0.29	2.61	0.55	3.54
能生	生	0.99	0.03	0.01	4.24	0.02	4.43	0.11	0.19	0.53
糸魚	川	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	1.08	0.02	0.02	0.00
	計	12.11	0.23	0.16	19.56	13.08	19.72	4.07	1.83	4.66
	前年	16.68	0.79	0.41	29.42	2.72	19.56	3.20	2.40	6.91
	5年平均	19.13	1.87	3.18	34.44	2.64	27.92	7.79	2.61	10.20

■ 山北～新潟 ■ 出雲崎～糸魚川



- ・11月の延べ出漁隻数は前年比69%、平年比51%でした。
- ・主要8地区の漁獲量は137トンで前年比86%(金額80%)、平年比65%(同72%)でした。
- ・カレイ類、ニギス、タコ類は前年・平年を下回りました。
- ・ハタハタは山北地区で好漁で前年・平年を大きく上回りました。12月に入ってから、上越地区でまとまった水揚げがありました。
- ・ホッコアカエビは前年並みでしたが、平年を下回りました。マダラ、ヤリイカは平年の半分程度の水揚げでした。
- ・スケトウダラ、ホッケは平年を大きく下回り、漁獲が少ない状況が続いています。
- ・その他の魚種(全漁法)では、マダイが前年比53%、アンコウ同55%、アカムツ同143%、ズワイガニ(雄)同44%(雌)同42%でした。

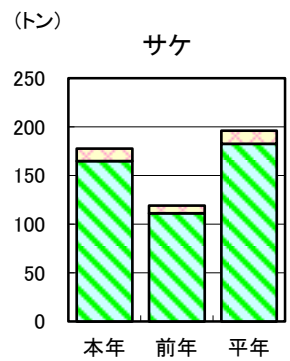
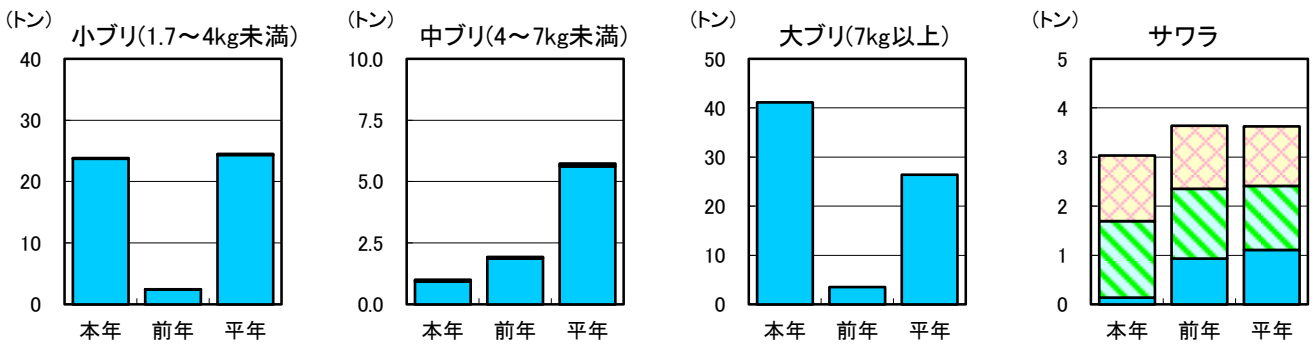
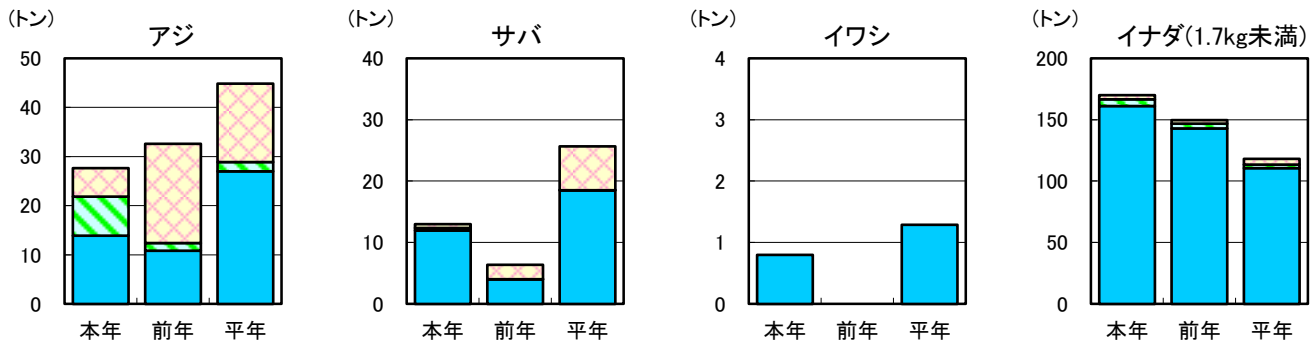
◎定置網

新潟県内主要定置網の水揚量(平成25年11月分)

単位:トン

魚種	アジ	サバ	イワシ	イナダ	小ブリ	中ブリ	大ブリ	メジマグレ	マグロ
両津湾	13.9	12.0	0.8	161.0	23.7	0.9	41.1	1.5	0.0
山北	2.5	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
岩船	5.5	0.4	0.0	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
糸魚川	2.1	0.2	0.0	1.8	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
青海	3.7	0.4	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	27.6	13.0	0.8	169.9	23.8	1.0	41.1	1.5	0.0
前年	32.6	6.4	0.0	149.6	2.4	1.9	3.6	0.2	0.0
5年平均	44.8	25.7	1.3	118.0	24.5	5.7	26.4	0.6	0.0

魚種	サワラ	サケ	サクラマス	スルメイカ	ヤリイカ	マダイ	ヒラメ	その他	計
両津湾	0.1	0.4	0.0	0.7	0.0	0.4	0.0	49.7	306.3
山北	0.1	105.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.1	0.1	110.2
岩船	1.5	58.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.8	71.2
糸魚川	0.6	9.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	10.4	24.4
青海	0.8	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.1	14.6
計	3.0	177.8	0.0	0.7	0.0	1.0	0.3	65.0	526.7
前年	3.6	118.9	0.0	0.4	0.0	1.5	0.7	150.6	472.4
5年平均	3.6	196.1	0.0	0.9	0.5	2.5	1.7	86.9	539.3



□南部(糸魚川・青海) ■北部(山北・岩船) ■佐渡

・11月の水揚量は527トンと、前年比111%、平年比(過去5ヶ年平均比)98%でした。
 ・アジ、サバ、イワシは平年を下回りました。
 ・ブリ類では、中ブリは平年を下回りましたが、小ブリは平年並み、イナダ、大ブリは平年を上回りました。
 12月はここまでイナダ中心の水揚げとなっています。
 ※詳しくは当所ホームページ「ブリ情報」に掲載しています
<http://www.pref.niigata.lg.jp/suikai/buri.html>
 ・サワラ、サケは平年並みでした。
 ・その他の魚種では、12月に入って、中旬に両津湾地区でスルメイカが豊漁で、水揚量が40トンを超える日もあります。
 このような状況は、平成18年1月(月計680トン)以来のことです。

◎まき網 (平成25年11月分)

単位:トン

	アジ	サバ	イワシ	イナダ	ブリ	その他	合計
新 潟	29	367	0	19	0	5	420
柏 崎	0	0	0	0	0	0	0
寺 泊	0	0	0	0	0	0	0
計	29	367	0	19	0	5	420
前 年	0	40	0	0	0	0	40
5 年 平 均	48	274	0	69	4	6	401

- ・11月の水揚量は420トンと、前年比1057%、平年比(過去5ヶ年平均比)105%でした。
- ・主体は10月と同様にサバで、全体の87%を占めています。

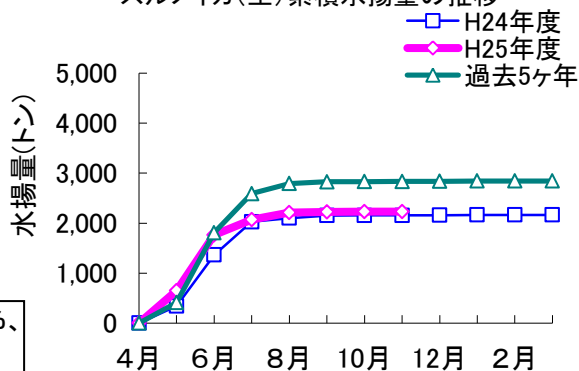
◎いか釣 県内主要地区の水揚量(平成25年11月) 単位:トン

地 区	隻数	水揚量
山 北	0	0
岩 船	0	0
新 潟	0	0
両 津	19	2
計	19	2
前 年	3	0
5 年 平 均	12	1

隻数:操業した延べ隻数

- ・11月の操業は両津地区のみで、水揚量は2トンと前年比4993%、平年比(過去5ヶ年平均比)252%でした。
- ・1隻1操業あたりの水揚量は126kgで、前年比788%、平年比159%と、好漁でした。
- ・4~11月の累積水揚量は2,235トンで、前年比104%、平年比79%と引き続き平年を下回って推移しています。

スルメイカ(生)累積水揚量の推移



◎大型クラゲ情報

大型クラゲの出現は日本海全体としても減少傾向にあります。12月4日以降、県内での大型クラゲの出現情報はありませ

◎近県の漁況…カッコ内の数字(%)は前年同月比(富山県、石川県は前年同旬比)

山形県(11月)

底曳網:ハタハタ46.8t(52%)、タイ類13.8t(58%)、カレイ類7.9t(92%)、マダラ7.3t(163%)、ズワイガニ7.2t(85%)、定置網:サケ138.0t(120%)、イナダ25.9t(226%)、アジ6.1t(329%)、サワラ1.0t(112%)、はえ縄漁業:サワラ9.4t(567%)、マダラ3.5t(116%)

富山県(11月下旬)

ソウダガツオ385.8t(413%)、シイラ78.5t(187%)、ヒラマサ35.9t(268%)、アオリイカ33.9t(58.4%)、アジ類31.7t(50%)、フクラギ27.1t(97%)、ベニズワイガニ23.1t(99%)

石川県(11月下旬)

定置網:ブリ71.9t(846%)、ソウダガツオ27.7t(110%)、アオリイカ27.4t(76%)、フクラギ19.9(124%)、まき網:フクラギ150.2t(247%)、ガンド2.9t(7%)、ブリ2.5t(7%)、底曳網・ごち網:ズワイガニ♀18.6t(50%)、ズワイガニ17.7t(37%)、ニギス11.6t(30%)、刺網その他:ベニズワイガニ21.1t(72%)、フクラギ2.6t(108%)、マダコ2.3t(66%)